



地震への安全性向上のため 「古利根堰」の耐震補強を計画しています

古利根堰って？

古利根堰は、一級河川大落古利根川（越谷市大吉地先と松伏町松伏地先）に跨る農業用水を取水するための施設（頭首工）です。

この堰は、昭和60年に県営地盤沈下対策事業「葛西下流地区」にて現在の形へ更新されました。

一方で、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、各地で農業用水利施設が被災し、人命、住宅、公共施設などに多大な被害をもたらしましたが、幸い、古利根堰に被害はありませんでした。

その後、施設管理者である葛西用水路土地改良区の要望に基づき、堰の状況調査を実施しました。

その結果、かんがい期間中に大地震が発生した場合、適切な堰操作が困難となり、堤防からの溢水による住宅・公共施設への甚大な影響及び水田への用水供給の停止などが起こるおそれがあることが判明しました。

そこで、地域住民の安全の確保と農業用水の安定供給を図るため、県は堰の耐震補強（改修）計画を策定中です。

古利根堰の耐震補強（改修）内容は？

- ・耐震補強施設
堰柱、堰ゲート、取水口等の補強など
- ・事業実施期間
平成31年度から平成35年度(予定)
- ・用水関係市町
春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町

▼古利根堰（かんがい期）



【お問合せ】

整備支援・管理担当 ☎048-737-2112



「緑のヘルシーロード」・「水と緑のふれあいロード」

自転車・歩行者用の遊歩道

見沼代用水路沿いに整備された「緑のヘルシーロード」と「水と緑のふれあいロード」は、埼玉県を縦断する全長約99kmの自転車・歩行者用の遊歩道です。そのうち、当センターでは約33kmを管理しています。皆さんもサイクリングや散歩をしながら、水と緑に囲まれた田園空間を楽しんでみてはいかがでしょうか。

コース案内のロードマップは、春日部・加須・さいたまの各農林振興センター農村整備部で配布しています。また、埼玉県ホームページからのダウンロードも可能です。

ヘルシーロード・ふれあいロード

検索



「地域活動」への支援

地域の皆さんが行うこの遊歩道の清掃や除草、植栽などの「地域活動」に対し、県は、「共助活動」として軍手等を提供しています。

関心のある方はお問い合わせください。

御利用の皆さんへ

自転車の方は、安全に留意し、歩行者に配慮して利用してください。また、農耕車の通行も可能となっておりますので、御理解と御協力をお願いします。皆さんが安心して楽しむことができるよう、交通ルールとマナーを守って御利用ください。



▼蓮田市立蓮田中学校の皆さん



軍手、ゴミ袋
などを提供
しています

【お問合せ】

整備支援・管理担当
☎048-737-2112